

■生徒の状況 ■保護者・教職員の願い ■地域の教育動向・資源・特色・願い	【校訓】 自ら行動し最後まで努力する人		■法令 ■学習指導要領 ■国・道・管内の教育動向 ■特別支援教育の動向
	学 校 教 育 目 標 豊かな心とつよい体をつくり、生涯にわたって自立し、たくましく生きる生徒を育てる (目指す生徒像) ・希望に向かって努力しやり遂げる生徒 ・人と適切なコミュニケーションができる生徒 ・働く喜びを知り、社会に貢献できる生徒 ・健やかな体をつくり安全に留意して生活できる生徒 ・自ら視野を広げ、豊かな心を持てる生徒		
	経営理念／本校の使命A・B(ミッション) 地域と共に学び(共学)、地域と共に創造し(共創)、地域と共に生きる(共生) 地域に根ざした特色ある学校教育の創造		
	A: 社会人・職業人としての自立を目指したライフキャリアアップとワークキャリアアップによる地方創生と共生社会の担い手の育成 B: 関係機関との連携に基づいた特別支援教育のセンター的機能及び地域の特別支援教育の充実並びに共生社会への貢献		

教育方針	経営方針
1 学習指導要領やこれまでの教育実践を踏まえつつ、新たな教育課題に対応した持続可能な教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。 2 個別的教育支援計画・個別の指導計画を基に、生徒一人一人の育成を目指す資質・能力の整理と育成及び学習評価の充実に努める。 3 「キャリア教育全体計画」を基に、職業教育や進路指導を充実させ一人一人が目標とする進路の実現と地域社会に貢献できる人材の育成に努める。 4 教務・舍務・事務が一体となり、道徳性や規範意識を涵養し、社会生活に必要なコミュニケーション能力と豊かな人間性を育む指導に努める。 5 健康・体力の向上と安全安心な学校づくりを推進し、望ましい習慣と自立的な活動を促進し、健やかな体をつくる指導に努める。 6 生徒の社会参加を進めるため、地域の小中学校や高等学校及び関係機関等との交流及び共同学習の充実、地域行事・活動への積極的な参加など、地域に根ざした教育活動を進める。 7 卒業後の地域生活・社会生活を見据えた、寄宿舎における生活指導や余暇の指導の充実を図る。	1 教育公務員としての自覚と責任をもち、法令等に基づく服務を遂行する。 2 教職員相互の連携と協働を基盤に、教育目標の達成・学校課題の解決に向けて、学校のチーム力の向上に努める。 3 保護者・地域の願いと期待に応える教育実践を積み重ね、信頼関係に基づく「地域社会から愛される魅力ある学校づくり」を進める。 4 教職員の各職種に応じた資質・能力の育成や専門性の向上を図るため組織的な研修と自己研さんに努めることができる環境の整備に努める。 5 「地域の特別支援教育の専門機関」としてのセンター的機能を果たし、小・中学校、高等学校等及び医療、福祉などの関係機関との連携の一層の推進と充実を図る。 6 危機管理体制の整備を図り、安全・安心・安定を基盤とした学校運営を推進する。 7 教職員一人一人が積極的に学校運営に参画し、主体的・協働的・効率的な組織運営を可能とするために、働き方改革の取組の実施と労働環境の改善充実に努める。 8 事務職員等の働きやすい環境整備に努め、学校の財務管理を計画的・効果的かつ適正な執行を図る。

本年度の重点目標
【指導の重点】 ・生徒一人一人の確かな学びと自立へ導く学習指導・生徒指導・生活指導の充実に努める。 ・教務・舍務・事務が一体となった教育の実現に努める。 【経営の重点】 ・地域から愛される学校として「共学・共創・共生」を実現する地域学校協働活動(CS)を推進する。 ・指導の質を高めるための働き方改革の着実な実施を図る。

指導の重点	経営の重点
【「生きる力」・「社会に開かれた教育課程」・「カリキュラム・マネジメント」】 ・「自分で課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断し行動し、より良く課題を解決する能力」の育成を図る。 ・「社会貢献」、「地域との協働」を基盤とした作業学習等の充実・発展に努める。 ・地域行事・活動への参加と地域資源を活用した学習及びふるさと教育の推進に努める。 ・ 模擬株式会社(IMAKANE FACTORY)の学習活動を中心とした 各教科等の内容の横断的な視点と地域や学校の特色を生かした教育課程の編成・実施に努める。 ・「キャリア教育全体計画」を活用し、教科等横断的な視点での 職業教育や進路指導 の指導計画の編成・実施・評価の充実に努める。 ・指導と評価の一体化を図ることで、PDCAサイクルによる学習評価や教育課程の評価の充実を図る。 【「確かな学び」】 ・ICTの活用を促進し、「主体的・対話的で深い学び」、「探究的な見方・考え方」の視点による授業改善に努める。 ・育成を目指す資質・能力(3つの柱)の明確化と共有を経て、育成を図る。 ・新しい時代に求められる教育内容や現代的諸課題に対応するために必要な能力の明確化と共有を経て、育成を図る。 【豊かな人間性の育成】 ・「考え、議論する道徳」による道徳教育や自らの体験や経験及び文化芸術活動の重視に努める。 ・ 非行、不良、問題行動、LGBTQ+、ヤングケアラー、家庭の貧困、虐待 への早期発見、早期介入及び組織対応に努める。 ・いじめの防止、不登校への支援等、発達支持的生徒指導の充実を図る。 【健康・体力の向上】 ・将来を見据えた望ましい生活・運動・食習慣の育成を図る。 ・感染症やがん教育、性、薬物に関する指導の充実を図り、身近な危険を自ら対処する判断力等を育てる学校安全教育の推進に努める。	【コンプライアンス(法令遵守)の確立】 ・体罰やわいせつ、パワハラ・セクハラ、情報漏えい、交通違反等の不祥事を根絶する。 ・服務規律の保持のため、研修会や注意喚起を適時実施し、教育公務員としての自覚と責任を促進する。 【学校・保護者・地域の連携・協働】 ・職務の乗り入れや役割分担の見直し、事前の情報共有の徹底等を図り、教務、舍務、事務の連携・協働によるチーム力の向上に努める。 ・保護者や地域のニーズに応じた教育活動の充実による信頼関係の構築を図る。 ・地域の中の学校として、一層の教育内容の啓発・周知及び地域活動への積極的な参加・協力による 発信力の強化 に努める。 ・特別支援教育に係るセンター的機能を、校内の組織及び業務の充実を図り、その達成に努める。 【教職員の研修】 ・教職員一人一人が教育実践上又は教育運営上の課題から自らのスキルアップにつながる研修等に取り組める体制づくりに努める。 【危機管理】 ・危機管理マニュアルやBCP(業務継続計画)の更新を踏まえ、防災防犯に対する意識の向上及び体制の整備に努める。 ・個人情報保護と情報セキュリティの意識を高め、情報管理体制の整備を図る。 ・施設、設備の点検整備による学校環境の安全・安心・安定の保障に努める。 【働き方改革】 ・分掌組織の運用の継続検討等、業務の精選や効率化、平準化の更なる改善に努める。 ・電子化やネットワーク化及び適正な指導体制を通して、業務の適正化・効率化の実現に努める。 ・教職員個々が タイムマネジメントとメンタルヘルスを働かせて、同僚性に基づく心理的安全性のある中で幸せな働き方(well-being)の実現に努める。 ・「働き方改革推進事業」の推進校として、 着実な実施と情報発信に努める。

行動指針	心理的安全性 「正しいことを正しと言える」	社会に開かれた・社会とかい離しない 「世の中の常識と組織の常識を一致させる」	公正・公平な人事評価 「ひたむきで、誠実な勤務(業務)がきちんと評価される」
------	--------------------------	---	---

国の教育方針

「生きる力の育成」

北海道の基本理念

「自立」・「共生」

檜山教育局管内の重点

「檜山の特色を生かし、一人一人に寄り添いながら、つながり・学び合い・未来を支える」

今金町の基本理念

「今金町の子どもたちは今金町民の手で育む」

生徒の将来像

【校訓】「自ら行動し最後まで努力する人」

【学校教育目標】「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」

目指す生徒像

- ・希望に向かって努力しやり遂げる生徒
- ・健やかな体をつくり安全に留意して生活できる生徒
- ・人と適切なコミュニケーションができる生徒
- ・自ら視野を広げ、豊かな心を持てる生徒
- ・働く喜びを知り、社会に貢献できる生徒

学校経営の基本方針

基本理念/本校の使命A・B（ミッション）地域と共に学び（共学）地域と共に創造し（共創）地域と共に生きる（共生）

地域に根ざした特色ある学校教育の創造

A: 社会人・職業人としての自立を目指したライフキャリアアップとワークキャリアアップによる地方創生と共生社会の担い手の育成

B: 関係機関との連携に基づいた特別支援教育のセンター的機能及び地域の特別支援教育の充実並びに共生社会への貢献

何を学ぶか

- 学習指導要領やこれまでの教育実践を踏まえつつ、新たな教育課題に対応した持続可能な教育課程（ESD：SDGs/ゼロカーボン/プログラミング等）
- 「社会貢献」「地域との協働」を基盤とした作業学習等
- 地域行事・活動への参加と地域資源を活用した学習及びふるさと教育の推進
- 模擬株式会社の学習活動を中心とした各教科等の内容の横断的な視点と地域や学校の特色を生かした教育課程
- 「キャリア教育全体計画」を活用し、職業教や進路指導の教科等横断的な視点での指導

本年度の重点目標

【指導の重点】

- ・生徒一人一人が確かな学びと自立に導く学習指導・生徒指導・生活指導の充実に努める。
- ・教務・舎務・事務が一体となった教育の実現に努める。

【経営の重点】

- ・地域から愛される学校として「共学・共創・共生」を実現する地域学校協働活動（CS）を推進する。
- ・指導の質を高めるための働き方改革の着実な実施を図る。

何ができるようになるか

- 様々な場面、状況において言葉や技能を使いこなす力
- 信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する力
- 感情をコントロールする力
- ルールを踏まえて建設的に発言・行動する力
- 他者の立場で物事を考える力
- 目的を達成するために他者と協働する力
- 意見の対立や理解の相違を解決する力
- 望ましい生活習慣と将来を見据えた運動習慣の定着

子どもの発達をどのように支援するか

- 生徒一人一人の多様な学びを保障し、自己理解・他者理解につながる指導・支援に努める。
- 「つぶやきWeek」をはじめ、生徒一人一人のニーズに応じたカウンセリングに努めるなど、発達指示的生徒指導に努める。
- 地域の体育的・文化的活動や各種スポーツ大会の参加を通して、達成感や自己肯定感を実感できる生活に努める。

実施するには何が必要か

- 学校予算・PTA/進路指導振興/後援会予算を適正に執行し、教育環境の整備に努める。
- 日常の情報共有・計画的な懇談を通して保護者連携に努める。
- 地域教育活動・地域特別支援教育・地域就労/生活を柱とした地域学校協働活動（CS）を推進する。
- PTA支援事業・子育て支援事業・教育支援アドバイザー等をはじめとする、地域・管内の特別支援教育を推進する。
- 就労支援事業・ソーシャルタウン今金構想等、地域各種事業と連動した地方創生と共生社会を推進する。
- 学校事故防止・災害対応・緊急体制・不祥事防止等、各種危機管理に取り組み、安全・安心な学校運営に努める。

どのように学ぶか

- 実際の・体験的なまとまりのある協働（協同）学習、教科等横断的学習、教科別・合わせた指導の展開
- 模擬株式会社（地域一休型デュアル実習：共通作業種、ふるさと納税返礼品）、交流・共同学習、オープンウィーク・学校説明会
- ICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」「探究的な見方・考え方」の視点による授業実践

何が身に付いたか

- 「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づく育成を目指す資質・能力の達成
- ※資質・能力の三つの柱の評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現等」「主体的に学習に取り組む態度」に基づく個別の目標を設定し評価する。

令和7年度 北海道今金高等養護学校



学校経営方針



校長 宮崎 宏美

1 校訓

自ら考え、自ら判断
し、自ら決定し

自ら行動し 最後まで努力する人

問題を発見し、その
解決に向けて、

2 学校教育目標

豊かな心とつよい体をつくり

生涯にわたって自立し

たくましく生きる生徒を育てる

知・徳・体を一体的に（バランスよく）育成し、
生涯にわたって自立（自律）していく生徒を育てる

3 目指す生徒像

- ・ 希望に向かって努力しやり遂げる生徒
- ・ 健やかな体をつくり安全に留意して生活できる生徒
- ・ 人と適切なコミュニケーションができる生徒
- ・ 自ら視野を広げ、豊かな心を持てる生徒
- ・ 働く喜びを知り、社会に貢献できる生徒

具体的に必要な力（コンピテンシー）とは？

4 必要な力（コンピテンシー）

- ・ 様々な場面や状況において、言葉や技能を使いこなす力
- ・ 信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する力
- ・ 感情をコントロールする力
- ・ ルールを踏まえて建設的に言動する力
- ・ 他者の立場で物事を考える力
- ・ 目的を達成するために他者と協働する力
- ・ 意見の対立や理解の相違を解決する力
- ・ 望ましい生活習慣と将来を見据えた運動習慣の定着

5

経営理念・ミッション

地域と共に学び（共学）

地域と共に創造し（共創）

地域と共に生きる（共生）

地域に根ざした特色ある学校教育の創造

- A: 社会人・職業人としての自立を目指したワークキャリアアップとライフキャリアアップによる **地方創生と共生社会の担い手**の育成
- B: 関係機関との連携に基づいて **特別支援教育のセンター的機能及び特別支援教育の充実並びに共生社会への貢献**

6 教育方針

- (1)教育課程の編成・実施・評価・改善
- (2)育成を目指す資質・能力の整理と育成及び学習評価
- (3)キャリア教育全体計画に基づく職業教育・進路指導
- (4)教務・舎務・事務一体となった人間性（道徳性・規範意識）・コミュニケーション能力の育成
- (5)健やかな体づくり・安全安心な学校づくり
- (6)交流及び共同学習の充実・地域に根ざした教育活動の促進
- (7)寄宿舎教育の充実

7 経営方針

- (1)教育公務員としての服務規律の遵守
 - (2)学校のチーム力の向上（連携と協働）
 - (3)地域から愛される魅力ある学校づくり
 - (4)組織的研修と自己研鑽
 - (5)特別支援教育のセンター的機能
 - (6)危機管理体制の構築
 - (7)働き方改革の実践
 - (8)事務職員等の働きやすい環境整備
- 適正な財務管理及び執行

8 本年度（令和7年度）の重点目標

【指導の重点】

- ・ 生徒一人一人の確かな学びと自立へ導く学習指導・生徒指導・生活指導の充実に努める。
- ・ 教務・舎務・事務が一体となった教育の実現に努める。

【経営の重点】

- ・ 地域から愛される学校として「共学・共創・共生」を実現する地域学校協働活動（CS）を推進する。
- ・ 指導の質を高めるための働き方改革の着実な実践を図る

9 指導の重点（令和7年度）

(1) 「生きる力」 ・ 「社会に開かれた教育課程」 ・ 「カリキュラム・マネジメント」

- ・ 模擬株式会社（IMAKANE FACTORY）の学習活動を中心としたカリキュラム・マネジメント
- ・ 「キャリア教育全体計画」を活用し、教科等横断的な視点での職業教育・進路指導

(2) 確かな学び

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」「探究的な見方・考え方」の視点による授業改善
- ・ 育成を目指す資質・能力（3つの柱）の明確化と共有、育成

(3) 豊かな人間性の育成

- ・ いじめの防止 ・ 不登校への支援
- ・ 非行、不良、問題行動、LGBTQ+、ヤングケアラー、家庭の貧困、虐待への対応
- ・ 発達支持的生徒指導、命を大切にする指導（自殺予防・SOSの出し方）の充実

(4) 健康・体力の向上

- ・ 望ましい生活・運動・食習慣の育成
- ・ 学校安全教育の推進

10 経営の重点（令和7年度）

(1) コンプライアンス（法令遵守）の確立

- ・体罰、わいせつ、パワハラ・セクハラ、情報漏えい、交通違反等の不祥事の根絶
- ・服務規律の保持

(2) 学校・保護者・地域の連携・協働

- ・地域の中の学校としての発信力強化

(3) 教職員の研修

- ・組織的な研修と自己研さんに努めることができる環境の整備

(4) 危機管理

- ・危機管理意識の向上（危機管理マニュアル及びBCPの更新、日常的な備え等）

(5) 働き方改革

- ・個々がタイムマネジメントとメンタルヘルスを働かせて、同僚性に基づく心理的安全性の中で
幸せな働き方（well-being）の実現
- ・「働き方改革推進事業」推進校として、着実な実施と情報発信

令和7年度もどうぞよろしくお願いします。



すべては生徒のために！